



蚊媒介感染症に気を付けましょう！

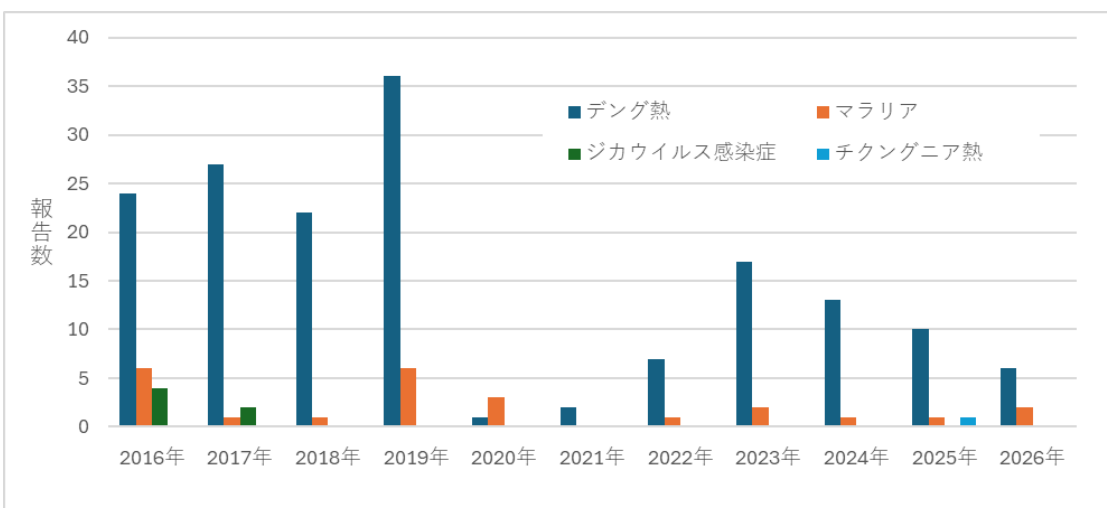
蚊媒介感染症とは、病原体を保有する蚊に刺されることによっておこる感染症です。主な蚊媒介感染症には、ウイルス疾患であるデング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、日本脳炎、ウエストナイル熱、黄熱、原虫疾患であるマラリアなどがあります。これらの感染症は主に熱帯、亜熱帯地域で流行しています。神奈川県内では2016年以降でデング熱、マラリア、ジカウイルス感染症、チクングニア熱の報告がありました。



ヒトスジシマカ
(写真提供：国立健康危機管理研究機構
国立感染症研究所昆虫医科学部)

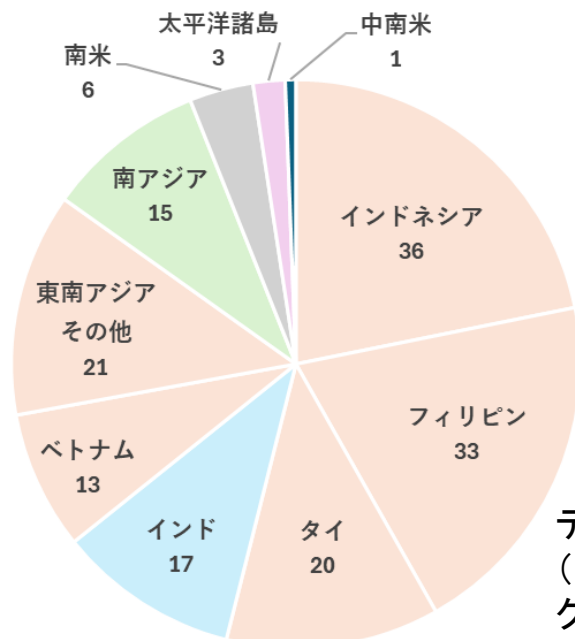
感染症名	潜伏期間	症状	治療法	媒介蚊
デング熱	2～14日（多くは3～7日）	発熱、頭痛、筋肉痛、発疹など	対症療法	ネッタイシマカ、 ヒトスジシマカ
マラリア	7～30日	発熱、悪寒、倦怠感、頭痛、筋肉痛、関節痛など	抗マラリア薬	ハマダラカ
ジカウイルス感染症	2～12日（多くは2～7日）	軽度の発熱、発疹、結膜炎、関節痛、筋肉痛、倦怠感、頭痛など	対症療法	ネッタイシマカ、 ヒトスジシマカ
チクングニア熱	2～12日（多くは3～7日）	発熱、関節痛、発疹など	対症療法	ネッタイシマカ、 ヒトスジシマカ

神奈川県内の主な蚊媒介感染症の発生動向年次推移



デング熱はアジア、マラリアはアフリカでの感染が多い

デング熱の感染地域の内訳は下の図の通りです。東南アジアでの感染が多くなっています。マラリアはアフリカでの感染が多くみられます。



デング熱の感染地域
(神奈川県 2016年～2026年)
グラフ内の数は報告数(n=165)

蚊媒介感染症への対策は？

1 蚊に刺されない！
長袖・長ズボンを着用し肌の露出を減らす。虫よけ剤を使う。
蚊取り線香、蚊帳を使用する。

2 蚊を増やさない！
水たまり(幼虫のすみか)を作らない。下草(蚊のたまり場)を刈る。

蚊媒介感染症を疑う症状が出たら
早期診断・早期治療が大切。
速やかに受診し、渡航歴を伝える。